



## 平成28年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年6月29日

上場取引所 東 札

上場会社名 株式会社 ニトリホールディングス

コード番号 9843 URL <http://www.nitorihd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 似鳥 昭雄

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部ゼネラルマネージャー

(氏名) 武田 史紀

TEL 03-6741-1204

四半期報告書提出予定日 平成27年7月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年2月期第1四半期の連結業績(平成27年2月21日～平成27年5月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第1四半期	119,226	1.7	20,825	△5.3	21,381	△4.4	11,839	△1.3
27年2月期第1四半期	117,262	15.9	21,980	16.6	22,364	20.8	11,998	20.5

(注) 包括利益 28年2月期第1四半期 12,283百万円 (19.1%) 27年2月期第1四半期 10,314百万円 (△14.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第1四半期	107.34	106.44
27年2月期第1四半期	108.96	108.82

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第1四半期	424,154	321,482	75.5
27年2月期	404,793	310,531	76.4

(参考) 自己資本 28年2月期第1四半期 320,383百万円 27年2月期 309,413百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	26.00	—	29.00	55.00
28年2月期	—	—	—	—	—
28年2月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年2月21日～平成28年2月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	216,500	2.7	34,000	△9.3	34,500	△9.7	19,800	△10.6	179.20
通期	445,000	6.6	71,000	7.1	72,000	6.0	43,600	5.2	394.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期1Q	114,443,496 株	27年2月期	114,443,496 株
② 期末自己株式数	28年2月期1Q	3,955,448 株	27年2月期	4,213,630 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期1Q	110,298,142 株	27年2月期1Q	110,119,032 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成27年2月21日から平成27年5月20日）におけるわが国経済は、政府による景気対策や日銀の金融緩和を背景に企業収益や雇用情勢に改善の動きがみられる等、緩やかな回復基調で推移いたしました。

家具・インテリア業界におきましては、急激な円安の進行による原材料価格の高騰、物流コストの上昇及び業態を超えた販売競争の激化等により、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループ（当社及び連結子会社）は、当第1四半期連結累計期間において次のような諸施策を実施いたしました結果、売上高は1,192億26百万円（前年同期比1.7%増）となったものの、営業利益は208億25百万円（前年同期比5.3%減）、経常利益は213億81百万円（前年同期比4.4%減）、四半期純利益は118億39百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間の営業概況は以下のとおりであります。

#### ① 家具・インテリア用品の販売

当第1四半期連結累計期間におきましては、例年より平均気温が高めであったことやゴールデンウィークの曜日並びが良く天候にも比較的恵まれていたことから春・夏物商品が好調に推移したものの、人件費及び物流関連のコストが増加したこと等により販管費率が上昇した結果、前年同期との比較では増収減益の結果となりました。

当社グループの取り組みといたしましては、円安対策の一環としてパーティカルマーチャンダイジングを推進し、原材料の見直し・共通化による原価低減と商品の入替えによる商品力強化に積極的に取り組んでまいりました。また、安さを維持しつつ新たな機能を追加した高付加価値商品の開発を継続して進めるとともに、重点課題である事業領域の拡大に向けて従来までの郊外型大型店に加え都市型店舗の出店を進める等、新たな客層の拡大に努めてまいりました。平成27年4月にニトリグループとして初めて百貨店内にオープンいたしました「ニトリプラント銀座店」（東京都中央区）は、20代・30代の働く女性をメインターゲットに、手ごろで簡単にコーディネートを楽しめる「スモールコーディネート」を意識し、ファッショナブルなアイテムとプレゼンテーションを重視した新しいコンセプトの売場を展開し好評をいただいております。

品ぞろえ対策といたしましては、クッション・インテリアフラワー・照明等のスモールファニチャーを中心に、「より上質なコーディネート」をキーワードとしてお客様へ厳選した商品を提案する新ブランド「NITORI QUALITY LINE」の展開を開始いたしました。また、帝人株式会社と共同開発し、2月から販売中のレースカーテン「N/ナチュラル」は、光を拡散・屈折させる特殊な構造の繊維を使用することで採光性（自然光による室内の快適な明るさ）と遮光性（屋外から室内の見えにくさ）を両立させるとともに、紫外線をカットする機能をあわせ持つ機能性商品として順調に売上が伸長しております。さらに、肌に触れるとひんやり冷たい接触冷感機能をもつ「Nクール」シリーズは、従来の寝具を中心とした品ぞろえにソファカバーやフロアマット等の取り扱いを拡大し、気温の上昇とともに販売実績を伸ばす結果となりました。

国内の店舗におきましては、当第1四半期連結累計期間において、中部・東海地区に3店舗、関東地区に2店舗、東北地区、北陸甲信越地区、近畿地区、中国・四国地区にそれぞれ1店舗、計9店舗を出店いたしました。一方、近畿地区で1店舗を閉鎖いたしました結果、国内の店舗数は354店舗となりました。このうち小商圏フォーマットのデコホームは、東京都台東区浅草に「浅草ロックス・3G店」をオープンする等都市部への出店を継続し、合計で33店舗となりました。また、4月には多彩なテナントから構成される商業施設「ニトリモール」の九州地区第1号施設「ニトリモール宮崎」を宮崎県内にオープンいたしました。海外の店舗におきましては、5月に中国3店舗目となる「上海中山公園兆豊（ちょうほう）広場店」を上海市に初出店いたしました結果、台湾の20店舗、米国の5店舗と合わせ、28店舗となりました。これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における国内・海外の合計店舗数は、382店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の家具・インテリア用品の販売事業の売上高は、1,172億94百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

#### ② その他

不動産賃貸収入及び広告・宣伝事業等により、当第1四半期連結累計期間のその他の事業の売上高は、19億32百万円（前年同期比9.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ193億60百万円増加し、4,241億54百万円となりました。これは主として、現金及び預金が128億80百万円、受取手形及び売掛金が40億44百万円、有形固定資産が36億42百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ84億9百万円増加し、1,026億72百万円となりました。これは主として、短期借入金が96億26百万円、流動負債のその他が74億70百万円増加した一方で、未払法人税等が41億45百万円、未払金が30億22百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ109億51百万円増加し、3,214億82百万円となりました。これは主として、利益剰余金が90億77百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月30日付の平成27年2月期決算短信で発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日、以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日、以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく単一の割引率を使用する方法から、退職給付の支払見込期間毎に設定された複数の割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が675百万円減少し、利益剰余金が434百万円増加しております。なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	26,409	39,289
受取手形及び売掛金	13,063	17,107
商品及び製品	41,563	33,848
仕掛品	184	209
原材料及び貯蔵品	2,740	2,723
その他	40,038	47,110
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	123,994	140,285
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	85,224	85,383
土地	111,106	114,032
その他（純額）	14,611	15,169
有形固定資産合計	210,942	214,584
無形固定資産	10,460	10,510
投資その他の資産		
差入保証金	17,042	16,590
敷金	17,050	17,252
その他	25,313	24,941
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	59,396	58,774
固定資産合計	280,799	283,869
資産合計	404,793	424,154
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,473	14,358
短期借入金	4,392	14,018
未払金	18,031	15,009
未払法人税等	13,961	9,816
賞与引当金	2,374	3,569
ポイント引当金	1,029	1,458
株主優待費用引当金	121	133
その他	19,623	27,094
流動負債合計	76,007	85,456
固定負債		
長期借入金	2,129	2,000
役員退職慰労引当金	228	228
退職給付に係る負債	2,345	1,707
資産除去債務	2,266	2,350
その他	11,283	10,928
固定負債合計	18,254	17,215
負債合計	94,262	102,672

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,370	13,370
資本剰余金	13,725	14,291
利益剰余金	267,963	277,040
自己株式	△14,639	△13,743
株主資本合計	280,419	290,960
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	586	793
繰延ヘッジ損益	25,095	25,505
為替換算調整勘定	3,345	3,159
退職給付に係る調整累計額	△33	△34
その他の包括利益累計額合計	28,993	29,423
新株予約権	1,050	1,018
少数株主持分	66	80
純資産合計	310,531	321,482
負債純資産合計	404,793	424,154

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月21日 至平成26年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年2月21日 至平成27年5月20日)
売上高	117,262	119,226
売上原価	57,394	56,786
売上総利益	59,868	62,440
販売費及び一般管理費	37,887	41,614
営業利益	21,980	20,825
営業外収益		
受取利息	94	115
為替差益	137	213
自動販売機収入	57	51
有価物売却益	56	68
その他	64	126
営業外収益合計	409	576
営業外費用		
支払利息	19	19
その他	6	0
営業外費用合計	25	20
経常利益	22,364	21,381
特別利益		
固定資産売却益	5	0
新株予約権戻入益	64	2
その他	4	-
特別利益合計	73	2
特別損失		
固定資産除売却損	0	2
リース解約損	0	4
特別損失合計	0	7
税金等調整前四半期純利益	22,437	21,376
法人税等	10,427	9,522
少数株主損益調整前四半期純利益	12,009	11,853
少数株主利益	10	14
四半期純利益	11,998	11,839

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月21日 至平成26年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年2月21日 至平成27年5月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	12,009	11,853
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30	207
繰延ヘッジ損益	△1,204	409
為替換算調整勘定	△460	△185
退職給付に係る調整額	-	△0
その他の包括利益合計	△1,695	429
四半期包括利益	10,314	12,283
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,303	12,269
少数株主に係る四半期包括利益	10	14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。